

豊浦地域

統合小学校検討委員会だより

《第2号》 平成29年2月発行

豊浦地域統合小学校検討委員会 事務局

第3回豊浦地域統合小学校

検討委員会が開催されました。

平成28年12月15日（木）午後7時から豊浦支所において委員会を開催し、統合小学校の候補校について検討を行いました。委員会では第2回検討委員会における委員の皆様からの意見を踏まえ、4小学校の全てについて、統合校とする場合の優位性や課題について、事務局（教育委員会）が作成した資料や、現地写真などに基づき検討を行い、その結果中浦小学校と本田小学校の2校を統合小学校の候補校として今後さらに検討を進めていくこととしました。

委員会の概要については次ページをご覧ください。

今後は上記の2校について、通学支援も含めて総合的に、教育委員会として、統合候補校を1校に絞り込む予定です。

○荒橋小学校の学区外就学について

荒橋小学校区には、御免町小学校に学区外就学をしている児童が少なからずおり、学校統合に向けた検討を進めていく上で留意しなければなりません。

【意見】

検討委員	教育委員会
現在、荒橋小学校区では御免町小学校と荒橋小学校に通っている児童がおり、従来の枠組みで4校がひとつになるという感じがしない。	実際に何人かは隣接している御免町小学校に通学している現実はあるが、それはあくまでも学区外就学ということで、これまでの学区が基本的に変わった訳ではない。 荒橋小学校区内の全ての児童が学区外就学の対象ではない。荒橋小学校区の中でも、旧新発田市と境界が隣接している集落地区の児童だけ特例が認められている。学区の線引きが変更となった訳ではない。
荒橋小学校以外の学校が統合小学校となった場合、御免町小学校とどちらが近いか考えた時、保護者の考えも変わるのではないか。	現在、学区の見直しをするといった計画はない。現実問題、御免町小学校も児童数が多く、現在の荒橋小学校区の一部を御免町小学校区に変更する事は考えていない。

【質疑】

- Q) 統合となれば学区外就学は許可しないのか？
A) 統合すれば特例については見直し、無くしていくという基本的な考え方はある。
- Q) 統合するまでは特例は続けるのか？
A) 特例の終了をいつにするかは難しい問題である。同じ家庭の兄弟・姉妹が別々の小学校に通学するようなことは避けなければならないと思っている。
- Q) 基本的に現在保育園の年長組が5年生の時に統合となると思うが、すでに御免町小学校に通学している子はそのままとするのか？
A) 統合の時期までの間で、どこで線を引くのか慎重に考えたい。
- Q) 線を引く場合は地元の説明に入るのか？
A) 当然そうしなければならないと思っている。
- Q) 竹ヶ花集落では一部の児童が御免町小学校、一部の児童が荒橋小学校に通学しているが、これは任意なのか？
A) 竹ヶ花集落は、学区としては荒橋小学校区ではあるが、旧新発田市と隣接しているため、申請をすれば学区外就学を認める場合がある。よって集落内でも旧新発田市と隣接している地区の児童で申請をし、許可された児童だけが御免町小学校へ通学している。

【事務局】

新発田市乙次 281 番地 2
新発田市教育委員会 教育総務課
担当 大森・阿部
電話 (22) 9531
Fax (26) 3755
E-mail kyoiku@city.shibata.lg.jp